

# 第3章

## 基本的な方針・目標、施策



## 3-1 基本的な方針・目標

上位計画や関連計画、本市における公共交通の課題を踏まえ、「基本的な方針」と「目標」を以下のとおり定めます。

第2次みどり市総合計画に即し、市の将来像として「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」を掲げ、公共交通を最大限に活用することで、将来像の実現に寄与します。

多様な公共交通の充実により、利用する人々の利便性、地域の活性化に資する公共交通の持続可能性を確保し、みどり市の公共交通を未来へとつないでいきます。

### 将来像

第2次みどり市総合計画と  
同じ目標を共有

～輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市～

### 基本的な方針

地域公共交通の「あるべき姿」

輝くひと 輝くみどり 未来へつなぐ公共交通

【輝くひと】 = 公共交通利用者 ⇒ 利便性を確保

【輝くみどり】 = 地域の活性化 ⇒ 公共交通の持続可能性を確保

### 目標

地域公共交通の「あるべき姿」を  
実現するために期間中に達成すべきこと

#### ① 人が輝くまちづくり ～地域をつなぎ暮らしを支える公共交通

- ・利用者が快適に移動でき、生活の質を高めることで、地域をつなぎ暮らしを支える公共交通を目指す。

#### ② 安全で快適なまちづくり ～安心と笑顔を運ぶ公共交通

- ・誰でも安心して利用できる環境を整え、安心と笑顔を運ぶ公共交通を目指す。

#### ③ 活力あふれるまちづくり ～地域の躍動を支える公共交通

- ・人々の移動を円滑にすることで、まちに活気と成長をもたらし、地域の躍動を支える公共交通を目指す。

#### ④ 自立と協働のまちづくり ～共に考え共に創る公共交通

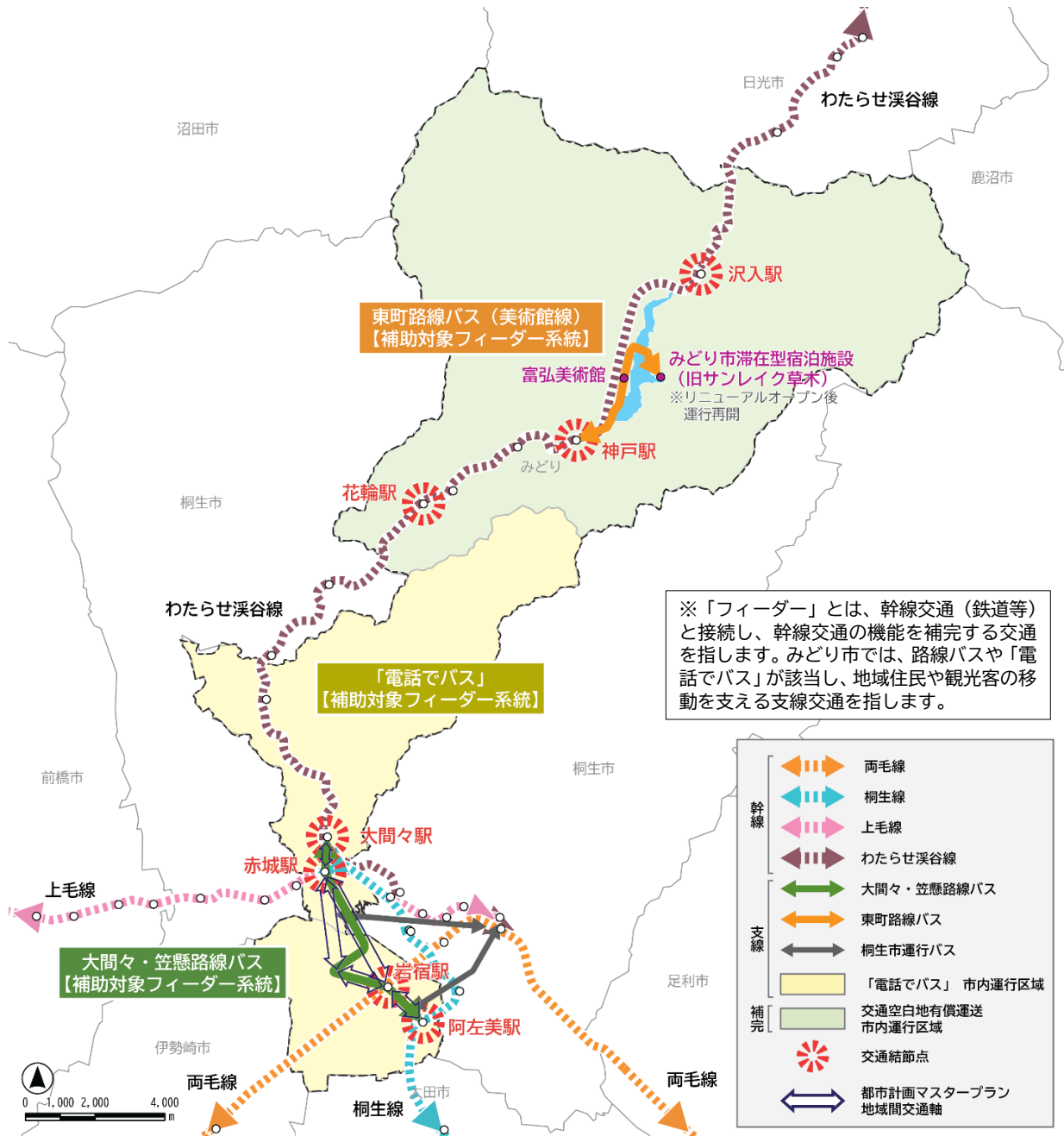
- ・地域住民や周辺自治体、交通事業者と連携し、持続可能で環境に配慮した、共に考え共に創る公共交通を目指す。

## 3-2 みどり市地域公共交通計画での公共交通ネットワーク

### (1) みどり市の地域公共交通ネットワーク

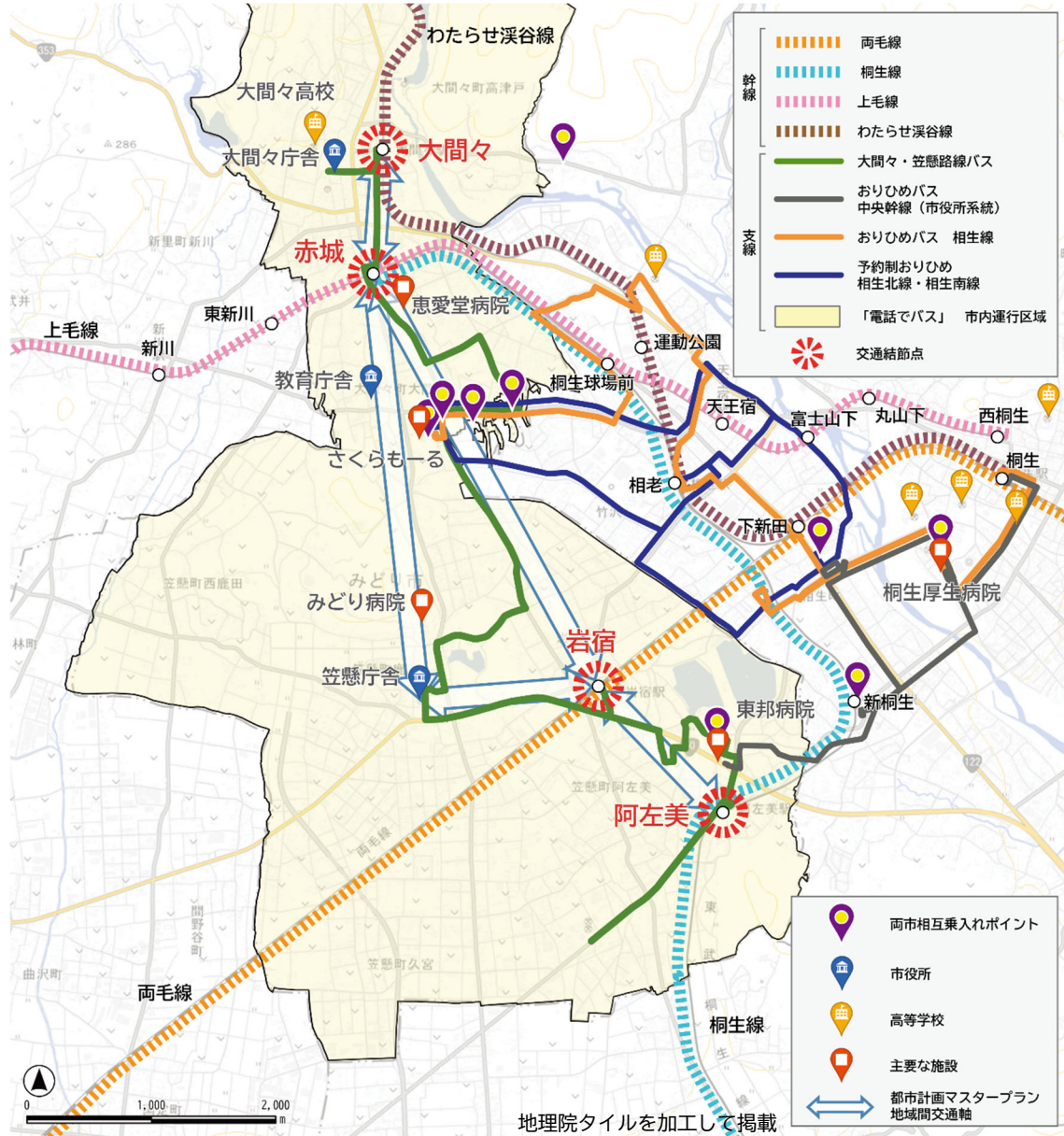
本計画の「基本的な方針」「目標」に基づき、本計画で位置づける公共交通ネットワークを以下に定めます。既存の公共交通を基本とし、隣接する桐生市の公共交通についても定めます。

#### ● みどり市全域の公共交通ネットワーク



位置づけ	考え方
幹線交通	みどり市と地域間・都市間をつなぐ鉄道を位置づける。
支線交通	幹線を補完するみどり市内の公共交通、隣接する桐生市からみどり市へ乗入れるバスを位置づける。
補完交通	幹線交通・支線交通ではカバーできない個別移動、特定の目的のための公共交通を位置づける。
交通結節点	幹線交通・支線交通・補完交通の乗継拠点、地域・生活拠点となる鉄道駅を位置づける。

◎ 南部地域（笠懸町・大間々町）の公共交通ネットワーク



位置づけ	No	交通サービス	交通事業者
幹線交通	1	・ 両毛線	・ 東日本旅客鉄道(株)
	2	・ 桐生線	・ 東武鉄道(株)
	3	・ 上毛線	・ 上毛電気鉄道(株)
	4	・ わたらせ渓谷線	・ わたらせ渓谷鐵道(株)
支線交通	5	・ 大間々・笠懸路線バス [法第4条許可] 【補助対象フィーダー系統】	・ みどり市 (委託: 赤城観光自動車(株))
	6	・ 「電話でバス」[法第4条許可] 【補助対象フィーダー系統】	・ みどり市 (委託: 赤城観光自動車(株))
	7	・ おりひめバス (中央幹線 市役所系統、相生線) ・ 予約制おりひめ (相生北・相生南線)	・ 桐生市 (委託)
補完交通	8	・ タクシー	・ (株)沼田屋タクシー、桐生合同自動車(株)、桐生朝日自動車(株)
	9	・ 福祉有償運送	・ 福祉有償運送事業者
	10	・ 小中学校スクールバス	・ みどり市 (委託)
	11	・ 桐生大学スクールバス	・ 桐生大学 (委託)
	12	・ ボートレース桐生無料巡回バス	・ (株)ボートネットワーク (委託)
	13	・ 高速バス (桐生駅南口発)	・ 東京空港交通(株)、日本中央バス(株)
補完交通 (環境に配慮)	14	・ 観光周遊バス (eCOM-8)	・ みどり市観光協会
	15	・ レンタサイクル	・ みどり市 (委託)、上毛電気鉄道(株)
交通 結節点	16	・ 岩宿駅、阿左美駅、赤城駅、大間々駅	・ 東日本旅客鉄道(株)、東武鉄道(株)、上毛電気鉄道(株)、わたらせ渓谷鐵道(株)

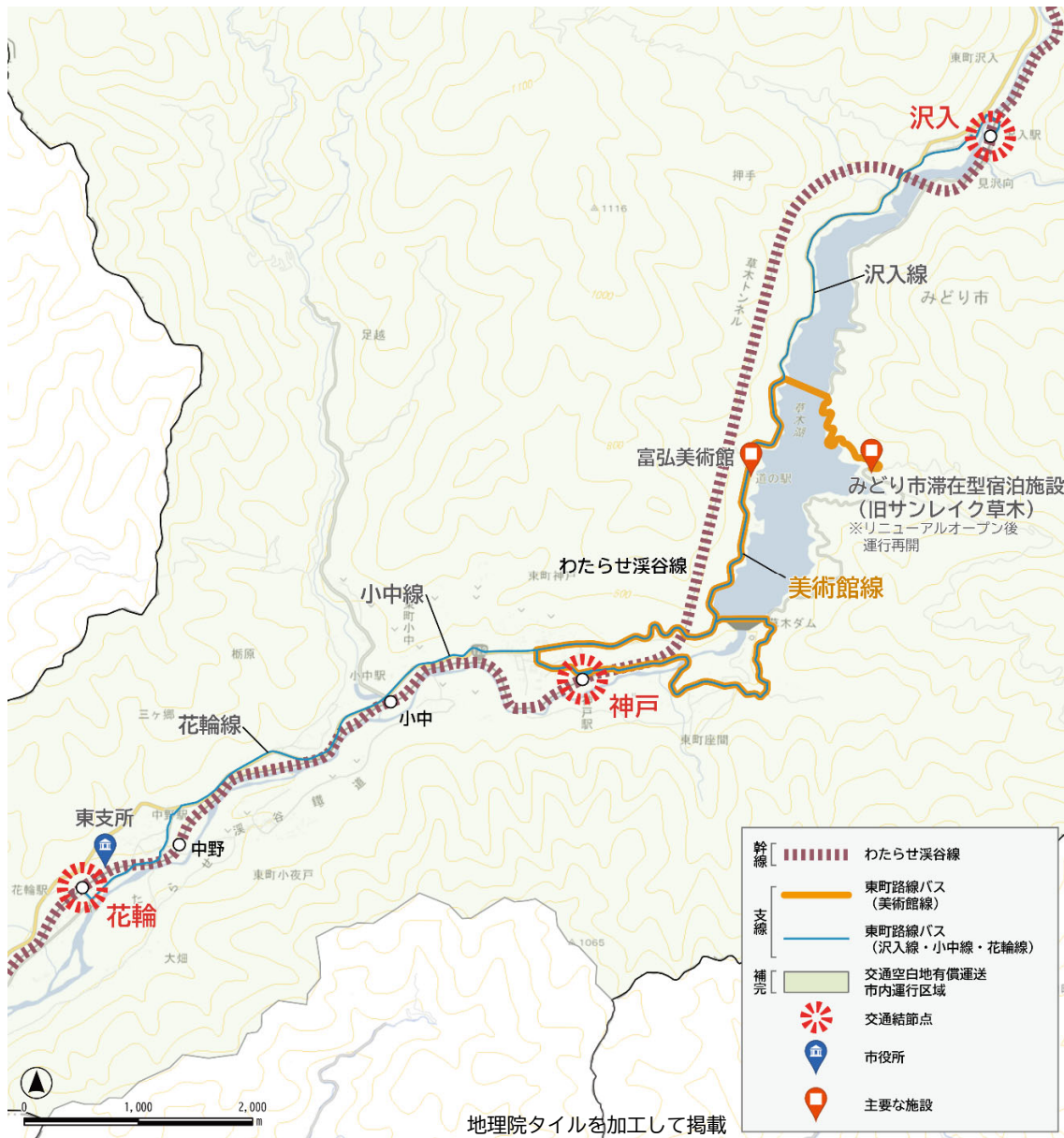
◎ 南部地域（笠懸町・大間々町）の位置づけ・役割

位置づけ	No	主な役割	確保・維持策
幹線交通	1	・ 岩宿駅から桐生市・伊勢崎市・前橋市・高崎市への地域間の移動を担う ・ JR 高崎線・北陸新幹線及び JR 宇都宮線・東北新幹線に接続し、都市間の移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保する</li> <li>・ 地域の実情に応じて、様々な側面から持続可能な政策を検討する※1</li> <li>・ 沿線住民の公共交通に関する意識醸成を促す取り組みを検討する※1</li> <li>・ 沿線自治体によるわたらせ渓谷鐵道に対する補助は従来と同じ形式（第三セクター）で継続する※2</li> </ul>
	2	・ 赤城駅・阿左美駅から太田市への地域間の移動を担う ・ 伊勢崎線及び小泉線に接続し、都市間の移動を担う	
	3	・ 赤城駅から桐生市・前橋市への移動を担う ・ 通勤・通学をメインとした地域間の移動を担う	
	4	・ 大間々駅から東町・桐生市への地域間の移動を担う ・ 間藤駅から日光市に接続し、都市間の移動を担う	
支線交通	5	・ 大間々駅・赤城駅・岩宿駅・阿左美駅を接続し、地域内の移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助、車両購入補助）を活用し、持続的な運行を目指す</li> <li>・ 桐生市地域公共交通計画に基づき、持続的な運行・交通事業者と協議のうえ、一定上の運行水準を確保する</li> </ul>
	6	・ 笠懸町・大間々町内の地域内の移動を担う ・ 一部で、桐生市と地域間の移動を担う	
	7	・ みどり市・桐生市間の地域間の移動を担う	
補完交通	8	・ ドアツードアの移動を担う ・ 地域内・地域間の移動を担う	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利用ニーズに応じた運行水準を確保する</li> </ul>
	9	・ 障がい者等の個別の移動を担う	
	10	・ 統廃合した小中学校の学区の児童・生徒の登下校を担う	
	11	・ 桐生第一高校・桐生大学を結び、桐生駅・阿左美駅を経由し学生の登下校を担う	
	12	・ 岩宿駅・阿左美駅からポートレース桐生、ポートレース桐生・みどモストリートパークまでの移動を担う	
	13	・ 桐生駅（南口）から羽田空港までの空港アクセス、名古屋・大阪・仙台までの東西の都市間アクセスなど、長距離の移動を担う	
補完交通 （環境に配慮）	14	・ 観光地までの移動、観光地の PR を目的とした運行を担う	
	15	・ まちなかの周遊、観光地までの移動を担う	
交通 結節点	16	・ 幹線と支線を繋ぐ主要な鉄道駅であり、各公共交通の乗り継ぎの拠点を担う	

※1：「上毛電気鉄道・わたらせ渓谷鐵道」のみ

※2：「わたらせ渓谷鐵道」のみ（沿線地域交通リ・デザイン推進協議会「今後のあり方に関する基本方針」より）

◎ 北部地域（東町）の公共交通ネットワーク



位置づけ	No	交通サービス	交通事業者
幹線交通	1	・ わたらせ渓谷線	・ わたらせ渓谷鐵道(株)
支線交通	2	・ 東町路線バス（美術館線）[法第4条許可] 【補助対象フィーダー系統】	・ みどり市（委託：赤城観光自動車(株)）
	3	・ 東町路線バス（花輪線・小中線・沢入線）	・ みどり市（委託：赤城観光自動車(株)）
補完交通	4	・ 交通空白地有償運送	・ 特定非営利活動法人グループ28
	5	・ タクシー	・ (株)沼田屋タクシー、桐生合同自動車(株)、桐生朝日自動車(株)
	6	・ 小中学校スクールバス	・ みどり市（委託）
補完交通 (環境に配慮)	7	・ 観光周遊バス（eCOM-8）	・ みどり市観光協会
交通 結節点	8	・ 花輪駅、神戸駅、沢入駅	・ わたらせ渓谷鐵道(株)

◎ 北部地域（東町）の位置づけ・役割

位置づけ	No	主な役割	確保・維持策
幹線交通	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>花輪駅・中野駅・小中駅・神戸駅・沢入駅から笠懸町・大間々町・桐生市への地域間の移動を担う</li> <li>沢入駅から日光市の間藤駅に接続し、都市間の移動を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通事業者と協議の上、一定以上の運行水準を確保する</li> <li>地域の実情に応じて、様々な側面から持続可能な政策を検討する※1</li> <li>沿線住民の公共交通に関する意識醸成を促す取り組みを検討する※1</li> <li>沿線自治体によるわたらせ渓谷鐵道に対する補助は従来と同じ形式（第三セクター）で継続する※2</li> </ul>
支線交通	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>神戸駅から富弘美術館までを接続し、わたらせ渓谷線から主に観光客の移動を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助、車両購入補助）を活用し、持続可能な運行を目指す</li> </ul>
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>花輪駅・神戸駅・沢入駅を接続し、地域内の移動を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用ニーズに応じた運行水準を確保する</li> <li>地域公共交通確保維持改善事業（フィーダー補助、車両購入補助）を活用し、持続可能な運行を目指す</li> </ul>
補完交通	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>日常生活の移動に困っている人の移動を担う</li> <li>東町を発着地とする、買い物や通院など日常生活に必要な移動を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>引き続き運行に関わる支援を実施し、持続可能な運行を目指す</li> </ul>
	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>ドアツードアの移動を担う</li> <li>地域内・地域間の移動を担う</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用ニーズに応じた運行水準を確保する</li> </ul>
	6	<ul style="list-style-type: none"> <li>あずま小中学校に通学する児童・生徒の登下校を担う</li> </ul>	
補完交通（環境に配慮）	7	<ul style="list-style-type: none"> <li>観光地までの移動、観光地のPRを目的とした運行を担う</li> </ul>	
交通結節点	8	<ul style="list-style-type: none"> <li>幹線と支線を繋ぐ主要な鉄道駅であり、各公共交通の乗り継ぎの拠点を担う</li> </ul>	

※1：「上毛電気鉄道・わたらせ渓谷鐵道」のみ

※2：「わたらせ渓谷鐵道」のみ（沿線地域交通リ・デザイン推進協議会「今後のあり方に関する基本方針」より）

## (2) 地域公共交通確保維持改善事業の必要性（地域内フィーダー系統）

みどり市では、幹線交通として両毛線、桐生線、上毛線、わたらせ渓谷線の4つの鉄道が運行し、市内には10駅が存在しています。これらの鉄道は、地域間・都市間の移動を担う広域的な路線です。

また、支線交通（4つの鉄道の機能を補完し、市内移動を確保する路線）として、大間々・笠懸路線バス、東町路線バスおよび「電話でバス」を市が主体となって運行し、地域住民や観光客の市内移動を支えています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の流行が始まった2020年（令和2年）以降、利用者は減少し、現在は回復傾向にあるものの十分には戻っていません。その結果、運賃収入も減少し、市や運行事業者の努力のみでは維持が困難な状況となっています。

本計画では、運行経費の削減を図るとともに、運賃収入の確保に向けて、市民や観光客が利用しやすい公共交通を目指します。

これらの経緯を踏まえ、地域公共交通確保維持改善事業の活用により運行を確保・維持する必要があるため、同事業活用の必要性について以下の路線を位置づけます。

### 大間々・笠懸路線バス

- ・大間々・笠懸路線バスは、みどり市都市計画マスタープランで「地域拠点」として位置づける「笠懸地域拠点（岩宿駅・阿左美駅周辺）」と「大間々地域拠点（赤城駅・大間々駅周辺）」を南北方向につなぐ路線として、通学をはじめ、買物・通院など日常生活の移動を担っています。また、隣接する桐生市が運行する「おりひめバス」と相互乗り換えが可能であり、両市間での移動を担っています。
- ・本市の特徴である鉄道4路線の主要駅を接続し、本市の公共交通ネットワークを構築するうえで重要な役割を担っています。

### 東町路線バス（美術館線）

- ・東町路線バス（美術館線）は、わたらせ渓谷鐵道「神戸駅」を起点として、みどり市都市計画マスタープランで「観光・レクリエーション拠点」として位置づける市の主要観光施設である「富弘美術館」や現在リニューアルオープンに向け整備を進める「みどり市滞在型宿泊施設（旧サンレイク草木）」をつなぐ路線として、主に観光客を中心とした移動を担っています。
- ・わたらせ渓谷鐵道とともに本市の観光振興を支える路線として重要な役割を担っています。

### 電話でバス

- ・「電話でバス」は、笠懸町・大間々町でのデマンド運行を実施し、主に高齢者の買物・通院などの日常生活に欠かせない移動手段を担っています。また、隣接する桐生市が運行する「おりひめバス」と相互乗り換えが可能であり、両市間での移動を担っています。
- ・大間々・笠懸路線バスとともに、自動車がなくても移動ができる環境を整備するうえで、重要な役割を担っています。

みどり市には沢山の公共交通機関があります！



みどり市マスコットキャラクター  
みどモス

両毛線 (JR 東日本)

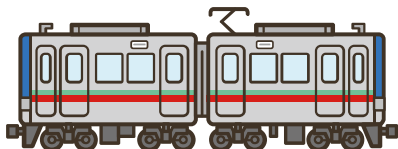
群馬県と栃木県をつなぐ、みどり市の“地域の動脈”



群馬県高崎市の高崎駅から栃木県小山市の小山駅までを結ぶ路線です。みどり市では、岩宿駅から利用でき、通勤・通学に加えて桐生市や足利市など歴史あるまちへのアクセスも便利です。あしかがフラワーパークや足利学校など観光地への玄関口としても活躍し、みどり市から広域へつながる鉄道として地域の未来を支えています。

上毛線 (上毛電気鉄道)

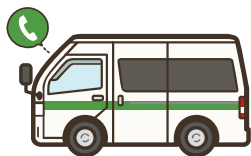
桐生と前橋を結び、みどり市の生活を支える鉄道



群馬県桐生市の西桐生駅から群馬県前橋市の中央前橋駅までを結ぶ路線です。みどり市では、赤城駅から利用でき、通勤・通学や病院・買い物などに欠かせない存在です。車窓からは赤城山や田園風景が広がり、地域の自然を感じながら移動できます。イベント列車や自転車をそのまま乗せられる「サイクルトレイン」など、暮らしに密着した工夫も魅力です。

電話でバス

乗りたいときに、すぐ呼べる！



みどり市の「電話でバス」は、事前に電話で予約して利用する乗合バスです。決まった時刻やルートではなく、利用者の希望に合わせて運行します。買い物や通院など、日常の移動をサポートする「呼べる公共交通」として、車がなくても安心して暮らせる環境づくりに役立っています。

まだまだ他にも！



観光周遊バス



タクシー



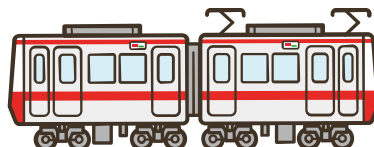
交通空白地有償輸送



レンタサイクル

桐生線 (東武鉄道)

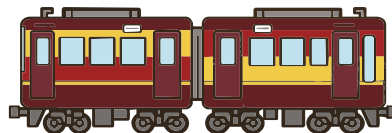
都心直通で、みどり市から東京へつながる鉄道



みどり市の赤城駅から群馬県太田市の太田駅までを結ぶ路線です。みどり市では、阿左美駅・赤城駅から利用できます。浅草発の特急「りょうもう号」に乗れば、みどり市から都心まで乗り換えなしでアクセス可能です。通勤や通学だけでなく、観光客を迎える玄関口としても重要です。藪塚温泉や桐生のまちなみと合わせて、みどり市を訪れる人々の移動を支えています。

わたらせ渓谷線 (わたらせ渓谷鐵道)

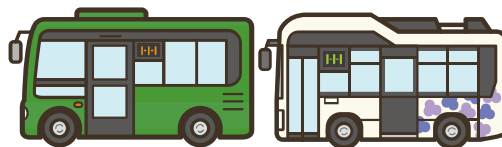
自然と観光を楽しめる、みどり市の“観光鉄道”



栃木県日光市の間藤駅から群馬県桐生市の桐生駅までを結ぶ路線です。みどり市では、大間々駅・神戸駅などから利用でき、渡良瀬川沿いを走る車窓からは、四季折々の渓谷美を楽しめます。トロッコ列車は観光客に人気で、春の桜や秋の紅葉など、みどり市の自然を全国に発信しています。地元の方にとっても、通勤・通学や病院・買い物への移動手段として大切な路線です。

路線バス (大間々・笠懸路線バス、東町路線バス)

のれる、つながる、まちのバス



みどり市内の路線バスは、主要な駅や市役所、病院、商業施設、観光地などを結び、市内の移動を支える公共交通です。あらかじめ決まった時刻表とルートに沿って運行されており、通勤・通学、買い物や通院、観光など日々の暮らしに利用できます。車がなくても移動できる、地域にとって大切な移動手段となっています。

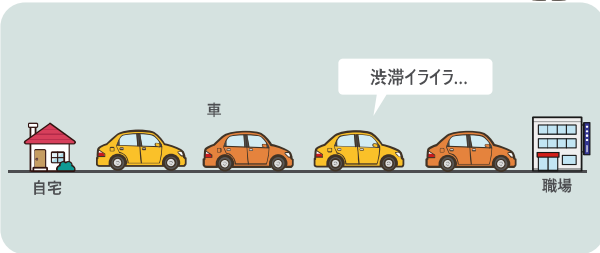
## こんな使い方ができます！

みどり市では、市内全域において鉄道や路線バスなどの公共交通を活用した移動が可能なルートが整備されています。通勤・通学をはじめ、買い物や通院など、日常生活のさまざまな場面で利用できる交通ネットワークとなっています。

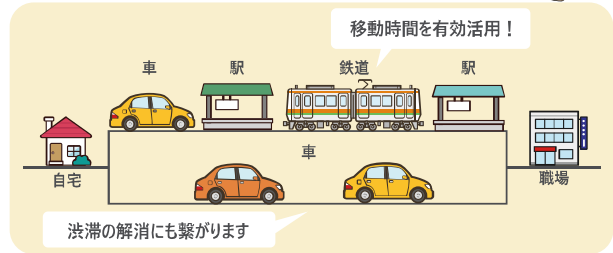
### 通勤

全域

市民の10人に8人が車通勤  
渋滞疲れになっていませんか？



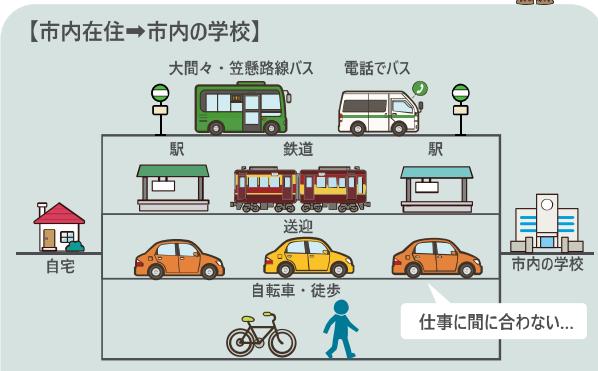
公共交通を使えば渋滞疲れから解放！  
毎日の移動がちよっと贅沢に！



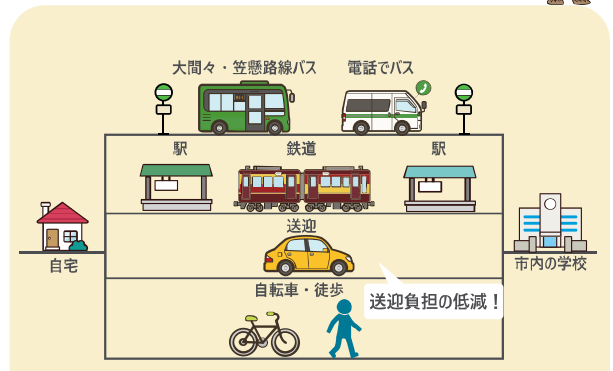
### 通学（高校生・大学生等）

全域

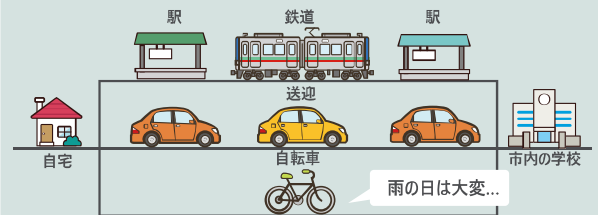
学校まで行くの大変だな。  
もっとラクに通学したいな...



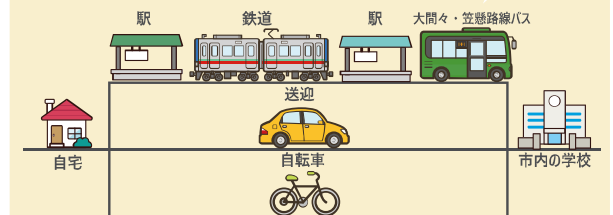
公共交通を使って通学すれば、  
いつもの通学時間がちよっと楽しく、ちよっと楽に！  
学校生活がもっと充実するかも？



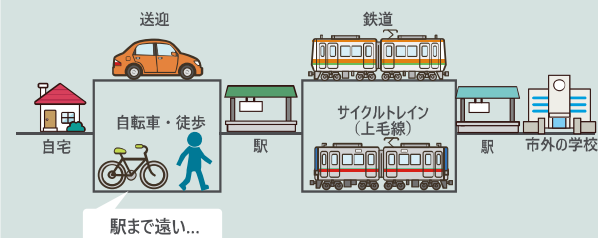
【市外在住⇒市内の学校】



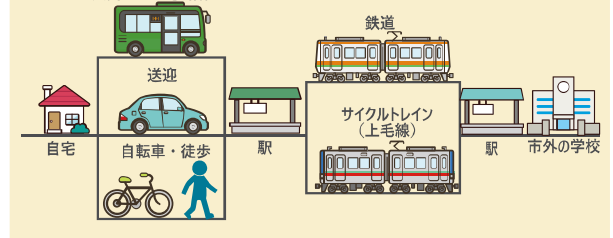
雨の日も安心！



【市内在住⇒みどり市外の学校】



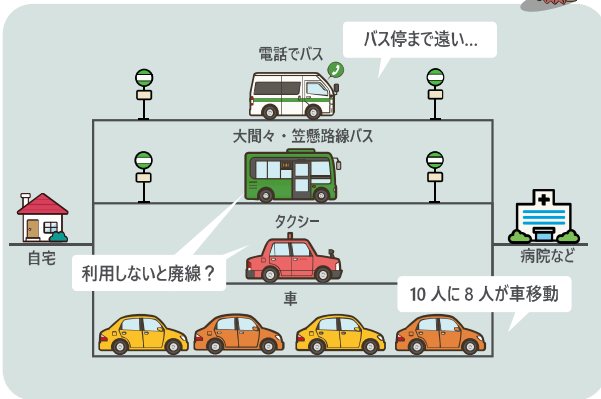
駅まで安全に行ける！



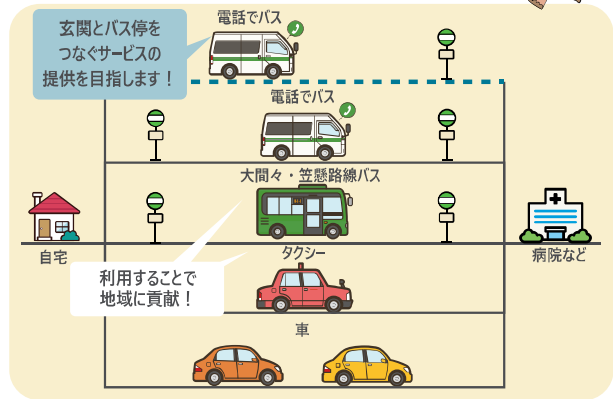
買い物・通院など

南部地域（笠懸町・大間々町）

車以外の選択肢、知っていますか？  
知っているけど、バス停まで歩けない...

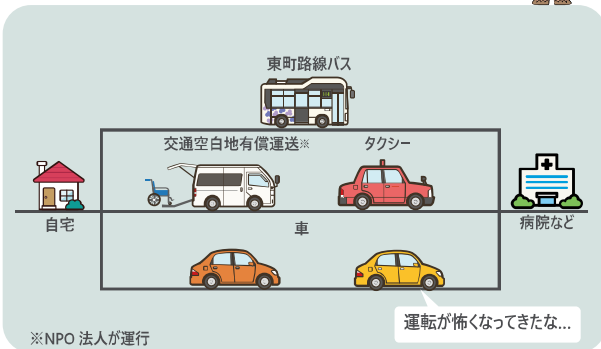


公共交通に乗ることで  
移動しながら誰もが地域貢献できる！  
皆様のお出かけ機会を増やします！

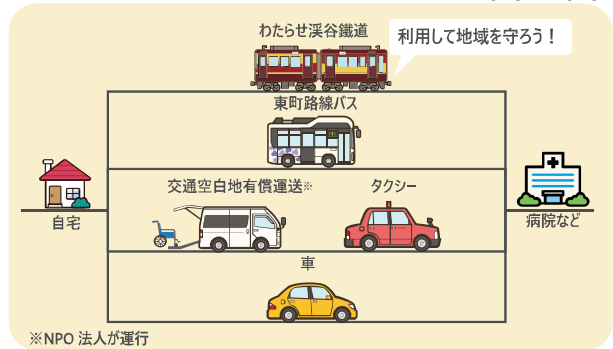


北部地域（東町）

東町では、10人に4人が高齢者。  
いつまで運転しますか？



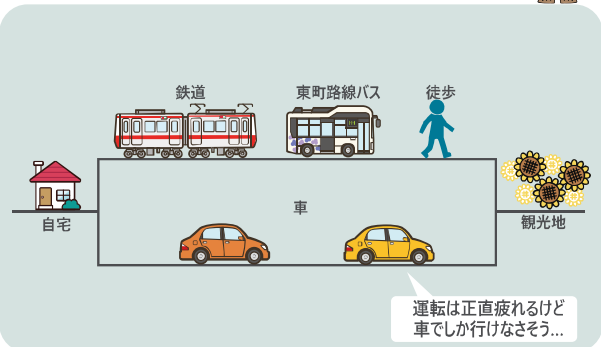
観光だけじゃない！  
普段の生活にも「わ鐵」、使えます！  
いつもと違うおでかけをしてみませんか？



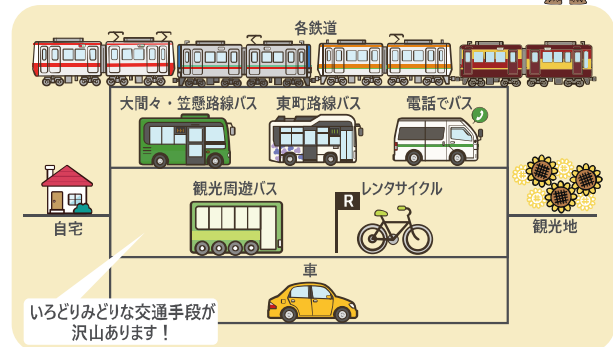
観光

全域

長時間の運転は疲れるな...  
でも、みどり市まで車でしか行けないでしょ？



みどり市内には4つも鉄道があります！  
公共交通にのることで移動自体を楽しみませんか？



「使ってみよう、公共交通」  
その気持ちで未来を創ります

### 3-3 目標達成のための施策・事業

#### (1) 施策・事業体系

「基本的な方針」を踏まえ、「目標」を達成するための施策を以下に示します。

◎ 目標・施策・事業と課題（テーマ）の関係

◎ テーマに直接的に関係する事業  
○ テーマに間接的に関係する事業

対応する課題（テーマ）						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
市民	高校生	高齢者	観光客	安心・安全 魅力向上・ 発信 収入確保	意識醸成 連携強化	最適化 支出抑制 DX・新技術
多様な公共交通を活用した目的に応じて柔軟に利用できる公共交通の構築	市内・市外への通学に対応した駅・学校への交通手段の確保	高齢者の買い物・通院ニーズに対応した公共交通の再編	鉄道を軸とした観光振興に資する公共交通の構築	市民・観光客が「利用したくなる」公共交通サービスの提供	一体となった連携体制の強化	笠懸・大間々・東それぞれの地域特性に応じた公共交通システムの構築

① 人が輝くまちづくり ～地域をつなぎ暮らしを支える公共交通

①-1 公共交通ネットワークの改善・強化

①-1-1 4鉄道の維持・連携強化	◎			○	○	○	
①-1-2 大間々・笠懸路線バスの改善・見直し		◎			○	○	○
①-1-3 東町路線バスの改善・見直し			◎		○		○
①-1-4 「電話でバス」の改善・見直し	◎		◎		○	○	○
①-1-5 バス車両の更新	○	○	○	○			◎
①-1-6 駅機能の整備	○	○	○	○	◎	○	○
①-1-7 日本版ライドシェアの導入	◎					○	○
①-1-8 レンタサイクルの充実	○			◎	◎	○	
①-1-9 補助制度の活用	◎	◎	◎	◎			

①-2 交通DX・GXの推進

①-2-1 AIオンデマンド交通システムの効果検証	◎		◎		○		◎
①-2-2 運賃のキャッシュレス化の導入	○	○	○	○	◎		○
①-2-3 パスロケーションシステムの導入	○	○	○	○	◎		○
①-2-4 グリーンスローモビリティの運行	○			◎	◎		○
①-2-5 デジタルサイネージの設置	○			○	◎		○
①-2-6 MaaSシステムの導入	○			○	◎	◎	○

①-3 利用しなくなる仕組みづくり

①-3-1 公共交通イベントの開催					◎	○	
①-3-2 バス停の案内看板デザインの変更					◎		
①-3-3 運賃補助制度の拡充	○	○	○		◎		
①-3-4 広報戦略の改善					◎	◎	

対応する課題（テーマ）						
①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
市民	高校生	高齢者	観光客	安心・安全 魅力向上・ 発信 収入確保	意識醸成 連携強化	最適化 支出抑制 DX・新技術
多様な公共交通を活用した目的に応じた柔軟に利用できる公共交通の構築	市内・市外への通学に対応した駅・学校への交通手段の確保	高齢者の買い物・通院ニーズに対応した公共交通の再編	鉄道を軸とした観光振興に資する公共交通の構築	市民・観光客が「利用したくなる」公共交通サービス提供	一体となった連携体制の強化	笠懸・大間々・東それぞれの地域特性に応じた公共交通システムの構築

- ◎ テーマに直接的に関係する事業
- テーマに間接的に関係する事業

<b>② 安全で快適なまちづくり ～安心と笑顔を運ぶ公共交通</b>							
<b>②-1 バリアフリー化の推進</b>							
②-1-1	バリアフリー車両の導入	○	○	○	○	◎	
②-1-2	駅機能の整備【①-1-6 再掲】	○	○	○	○	◎	○
<b>②-2 快適性の向上</b>							
②-2-1	公共交通オープンデータの整備・活用					◎	○
②-2-2	出前講座等の開催					◎	◎
②-2-3	駅機能の整備【①-1-6 再掲】	○	○	○	○	◎	○
②-2-4	AIオンデマンド交通システムの効果検証【①-2-1 再掲】	◎		◎		○	◎
②-2-5	運賃のキャッシュレス化の導入【①-2-2 再掲】	○	○	○	○	◎	○
②-2-6	パスケーションシステムの導入【①-2-3 再掲】	○	○	○	○	◎	○
②-2-7	デジタルサイネージの設置【①-2-5 再掲】	○			○	◎	○
②-2-8	MaaSシステムの導入【①-2-6 再掲】	○			○	◎	◎
<b>③ 活力あふれるまちづくり ～地域の躍動を支える公共交通</b>							
<b>③-1 まちづくりと連携した交通施策の推進</b>							
③-1-1	立地適正化計画との連携	○					◎
③-1-2	観光施策との連携				◎		◎
<b>③-2 移動自体を楽しむ仕組みづくり</b>							
③-2-1	景観を活かした運行	○			◎	◎	○
③-2-2	新たな移動サービスの調査・検討	○			○	◎	◎
③-2-3	グリーンスローモビリティの運行【①-2-4 再掲】	○			◎	◎	○
<b>④ 自立と協働のまちづくり ～共に考え共に創る公共交通</b>							
<b>④-1 官民連携した交通施策の推進</b>							
④-1-1	群馬県との連携強化						◎
④-1-2	桐生市との連携強化	○					◎
④-1-3	市民団体等による環境整備・情報発信					◎	◎
④-1-4	日本版ライドシェアの導入【①-1-7 再掲】	◎					○
<b>④-2 地域企業との連携</b>							
④-2-1	地元企業産のグッズの販売					○	◎
④-2-2	広告協賛事業の導入					◎	
④-2-3	商業施設・医療施設との連携					○	◎
<b>④-3 公共交通の実態の周知</b>							
④-3-1	公共交通の利用実態調査・モニタリングの実施						◎
④-3-2	公共交通イベントの開催【①-3-1 再掲】					◎	○
④-3-3	広報戦略の改善【①-3-4 再掲】					◎	◎
④-3-4	出前講座等の開催【②-2-2 再掲】					◎	◎

## (2) 事業内容

施策体系を踏まえ、以下に事業内容を整理します。

### ◎ 施策・取組の内容表の見方

目標番号	目標名
施策番号	施策名
背景 目的	● 施策の背景と目的を示します。

事業番号	事業名						
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	◎ テーマ直接的に関係する事業、○ テーマに間接的に関係する事業						
事業内容	(1) 事業の内容を示します。						
エリア 路線等	● 事業の対象となるエリアや路線等を示します。						
スケジュール		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
実施主体	(1)	【実施主体を示します】 ↓ 実施のスケジュールを示します					

<b>①</b>	<b>人が輝くまちづくり ～地域とつなぎ暮らしを支える公共交通</b>
<b>①-1</b>	<b>公共交通ネットワークの改善・強化</b>
<b>背景目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●アンケート調査結果では、市民の移動の8割程度が自動車での移動であり、公共交通が利用されていない。</li> <li>●各公共交通の収支率は、年々悪化し個々の公共交通だけでの取り組みでは、公共交通を維持していくことが難しい状況となっている。</li> <li>●市民の公共交通利用での「おでかけ」を実現し、みどり市を訪れる観光客が快適に移動できるよう、既存の公共交通を改善・強化し、持続可能な公共交通を実現することを目的とする。</li> <li>●既存の公共交通の無駄を省き、効率的な運行と適切な予算配分を実現することを目的とする。</li> </ul>

<b>①-1-1</b>	<b>4 鉄道の維持・連携強化</b>
--------------	---------------------

<b>対応するテーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	◎			○	○	○	
<b>事業内容</b>	<p>(1) 「上毛電気鉄道」「わたらせ渓谷鐵道」は、「沿線地域交通リ・デザイン協議会」において今後の鉄道のあり方を検討し、維持・連携強化を図るため、「地域公共交通計画」を策定する。</p> <p>(2) 既存のパークアンドライド駐車場の利用促進、サイクルトレインのさらなる周知による自転車の利用促進や観光振興により鉄道利用者の増加を図る。</p> <p>(3) 「上毛電気鉄道」「わたらせ渓谷鐵道」は、「再生協議会等」において、計画的な車両更新・設備更新及び運行支援について検討を行う。</p> <p>(4) 4鉄道が連携したイベントや運賃サービスを実施することで、みどり市だけでなく周辺地域の活性化に寄与する取り組みを実施する。          →事例：鉄道事業者による、「ぐんまローカルスタンプラリー」イベント          →事例：東武鉄道による、「ふらっと両毛 東武フリーパス」</p>						
<b>エリア路線等</b>	●両毛線、桐生線、上毛線、わたらせ渓谷線						
<b>スケジュール実施主体</b>		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【鉄道事業者、群馬県、みどり市】リ・デザイン推進協議会による協議 →					
		【鉄道事業者・群馬県・みどり市】地域公共交通計画の策定（予定） →					
	(2)	【鉄道事業者】パークアンドライド・サイクルトレインの強化 →					
	(3)	【鉄道事業者、群馬県、みどり市】再生協議会での更新を検討 →					
	(4)	【鉄道事業者】4鉄道が連携した取組の継続 →					

①-1-2 大間々・笠懸路線バスの改善・見直し							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
		◎			○	○	○
事業内容	(1) 鉄道（大間々駅、赤城駅、岩宿駅、阿左美駅）との接続を考慮したダイヤの調整を図る。 (2) みどり市内の通院先である「恵愛堂病院」「東邦病院」、利用者の少ない「アクロスプラザ」バス停については、利用者の動向に合わせたダイヤの調整を図る。 (3) 大間々高校生や市外へ通学する高校生が通学時間帯に利用できるよう、ダイヤの調整を図る。 (4) 高校生の多い笠懸南部に路線バスの運行を検討する。						
エリア 路線等	●大間々・笠懸路線バス						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【委託業者、みどり市】ダイヤの調整・随時見直し →					
	(2)						
	(3)						
(4)	【委託業者、みどり市】導入の検討 →						

①-1-3 東町路線バスの改善・見直し							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
				◎	○		○
事業内容	(1) 現行路線における利用実態や今後の沿線の取り組みを踏まえ、想定されるニーズに対応できる路線への見直しを検討する。 (2) 主に観光客に利用され、「富弘美術館」「みどり市滞在型宿泊施設（旧サンレイク草木）」への需要があり、10月から11月にかけて利用者が増加するため、利用動向に合わせて増便などの対応の検討を行う。						
エリア 路線等	●東町路線バス						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【委託業者、みどり市】利用実態等を踏まえた路線の見直しの検討・実施 →					
	(2)	【委託業者、みどり市】美術館線の増便対応の検討・実施 →					

①-1-4 「電話でバス」の改善・見直し							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	◎		◎		○	○	○
事業内容	(1) 住民の高齢化や「バス停まで遠い」といった実態に対応するため、玄関先まで迎えに行く仕組みも含めて運行体制を見直し、予約の取りにくさを改善して効率的で利用しやすいデマンドバスを目指す。その際、福祉有償運送の利用条件に該当しないが現行の仕組みでは利用が難しい人（アンケートで「バス停まで歩くのが大変」と回答した市民や妊婦など）を対象とし、タクシー事業者の民業を圧迫しないよう十分に協議を重ねた上で導入を検討する。						
エリア 路線等	●「電話でバス」						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【委託事業者、みどり市】運行体制の見直し					

①-1-5 バス車両の更新							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○	○	○	○			◎
事業内容	(1) みどり市が運行する大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」の持続的な運行のため、計画的な車両更新を行う。						
エリア 路線等	●大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【みどり市】バス車両の計画的な更新					

①-1-6 駅機能の整備							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○	○	○	○	◎	○	○
事業内容	(1) 「岩宿駅を核とした総合的なまちづくりプラン」に基づき、岩宿駅周辺の整備を実施し、利用者の利便性と快適性の向上を図る。 (2) その他の駅についても、まちづくりや利用者動向に応じて、バスやタクシーなどの結節機能としての整備を検討する。						
エリア 路線等	●岩宿駅、その他市内の駅						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【みどり市】 用地交渉、駅舎機能やコストの比較検討、検討結果を踏まえた事業推進（設計等）					
	(2)	【みどり市】まちづくり・利用者動向に応じて検討・実施					

①-1-7 日本版ライドシェアの導入							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	◎					○	○
事業内容	<p>(1) タクシー事業者の運転手不足への対応及び桐生市との生活圏との一体化を目的として、タクシー事業者・桐生市と連携し、「自家用車活用事業（日本版ライドシェア）」の導入を検討する。</p> <p>→桐生市では、タクシー運転手不足への対応として、タクシーの空き車両を活用した「自家用車活用事業（日本版ライドシェア）」を令和6年11月29日より開始し、市民の移動手段を確保している。</p>						
エリア 路線等	●市内全域						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【タクシー事業者、桐生市】桐生市での日本版ライドシェアの運行					
		【タクシー事業者、桐生市、みどり市】みどり市内での検討・実施					

①-1-8 レンタサイクルの充実							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○			◎	◎	○	
事業内容	<p>(1) さらなる周知・PRを進め、利便性向上を図るため、設置場所の増設や車両の増車など、利用状況に応じて検討する。</p> <p>→市内5か所（みどり市観光協会、大間々駅前観光案内所、岩宿博物館、花輪駅、赤城駅）に無料のレンタサイクルを設置し、主に観光客の移動手段として活用されている。</p>						
エリア 路線等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●みどり市観光協会、大間々駅前観光案内所、岩宿博物館、花輪駅、赤城駅</li> <li>●その他主要な施設</li> </ul>						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【みどり市】レンタサイクルの継続					
		【上毛電気鉄道、みどり市観光協会、民間事業者、みどり市】設置場所の増設、車両の増車に向けた検討・導入					

①-1-9 補助制度の活用							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	◎	◎	◎	◎			
事業内容	<p>(1) 持続可能な運行体制を構築するため、群馬県市町村乗合バス補助金、地域公共交通確保維持改善事業（国費）を活用し、維持・改善に取り組む。</p> <p>→大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」は、市民・観光客の移動手段として必要不可欠である。しかし、本市や事業者の運営努力だけでは、路線の維持が困難となっている。</p>						
エリア 路線等	●大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」						
スケジュール		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
実施主体	(1)	【みどり市】補助制度の活用の検討・実施					

<b>①</b>	<b>人が輝くまちづくり ～地域とつなぎ暮らしを支える公共交通</b>
<b>①-2</b>	<b>交通 DX・GX の推進</b>
<b>背景目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「みどり市デジタル化推進計画」「みどり市 SDGs 未来都市計画」に基づき、DX・GX を推進しており、持続可能なまちづくりが求められている。</li> <li>●デジタル技術を活用した事業改革と環境に配慮した運行を推進し、持続可能な公共交通を構築することを目的とする。</li> </ul>

<b>①-2-1 AI オンデマンド交通システムの効果検証</b>							
<b>対応するテーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	◎		◎		○		◎
<b>事業内容</b>	<p>(1) 予約に応じた最適ルート of 自動計算による効率的な配車とスマートフォンアプリの活用により、「予約が取りにくい」問題の解消や利便性の向上を図る。 →利用者アンケートやヒアリングを通じて効果を検証し、より高い利便性と効率的な運行を目指す。</p>						
<b>エリア路線等</b>	●「電話でバス」						
<b>スケジュール実施主体</b>	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
	(1)	【委託事業者、みどり市】効果検証結果により随時見直し					

<b>①-2-2 運賃のキャッシュレス化の導入</b>							
<b>対応するテーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○	○	○	○	◎		○
<b>事業内容</b>	<p>(1) 運賃のキャッシュレス化の導入によって利便性が向上し、乗降時の時間短縮に寄与する。また、現金管理の手間が削減され、運営コストの抑制にもつながるため、今後の利用者動向に応じて段階的な導入を検討する。 →令和6年6月に大間々・笠懸路線バスに電子決済端末を導入したが、電子決済端末の利用率は0.5%から4%で推移している。</p>						
<b>エリア路線等</b>	●大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」						
<b>スケジュール実施主体</b>	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
	(1)	【委託事業者、みどり市】利用者動向に応じて導入検討					

①-2-3 バスロケーションシステムの導入								
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	○	○	○	○	◎		○	
事業内容	(1) バスの乗り遅れなどを防ぐため、スマートフォン等でバスの現在地を確認できるバスロケーションシステムの導入を検討する。							
エリア 路線等	●大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」							
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
(1)		【委託事業者、みどり市】導入に向けた検討						→

①-2-4 グリーンスローモビリティの運行								
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	○			◎	◎		○	
事業内容	(1) みどり市観光協会が所有するグリーンスローモビリティを活用し、既存イベントでの運行に加え、ゆったりとしたスピードとコンパクトな車両という特徴を活かし、まちなか周遊ルートの開拓を検討する。							
エリア 路線等	●市内全域							
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
(1)		【みどり市観光協会、みどり市】連携した運行の実施						→

①-2-5 デジタルサイネージの設置								
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	○			○	◎		○	
事業内容	(1) 市内の主要駅やバス停留所、商業施設、医療施設などにデジタルサイネージを設置し、利便性の向上と情報発信の強化を図る。リアルタイムの運行情報や遅延情報を提供し、乗客の移動をよりスムーズにするとともに、公共交通の利用メリットを最大化する。 →設置にあたっては、多言語対応による訪日外国人向けの案内強化や、視認性の高い情報デザインを採用し、より多様な利用者が快適に移動できる環境を実現する。							
エリア 路線等	●主要な駅・バス停 ●商業施設・医療施設							
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
(1)		【民間事業者、交通事業者・みどり市】関係者・施設管理者との協議の上、設置検討・実施						→

①-2-6 MaaS システムの導入							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○			○	◎	◎	○
事業内容	<p>(1) 群馬県で運営している「GunMaaS※1」やみどり市独自の「行政 MaaS※2」の導入を検討する。</p> <p>→※1：MaaS (Mobility as a Service) システムの導入により、市民や観光客の移動ニーズに対応し、複数の公共交通や移動サービスを最適に組み合わせた検索・予約・決済を一括で行うことが可能となる。さらに、観光や医療など交通以外の分野との連携を強化することで、移動の利便性向上だけでなく、地域の活性化にも貢献する。</p> <p>→※2：行政 MaaS：庁舎とオンラインで接続されたマルチタスク車両を活用し、行政職員が現地へ移動することなく、各種申請や相談に対応できる移動型行政サービス。住民がアクセスしやすい場所で行政サービスを受けられる。</p>						
エリア 路線等	●市内全域						
スケジュール		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
実施主体	(1)	<p>【交通事業者、委託事業者、みどり市】 みどり市に合ったシステムの検討・導入</p> <p style="text-align: right;">—————→</p>					

① 人が輝くまちづくり ～地域とつなぎ暮らしを支える公共交通

①-3 利用したくなる仕組みづくり

**背景目的**

- 路線バスを利用しない理由として、運行エリアの住民であっても「バスの存在を知らない」や「自家用車を運転するため利用しない」といった要因がある。そのため、情報の周知や公共交通の魅力を発信することが求められている。
- 特に通学時に鉄道を利用しない高校生は、公共交通に対する関心が低い傾向があり、幼少期から公共交通への関心を育むことが求められている。
- 公共交通の利便性向上だけでなく、移動の快適性と情報提供の質を向上させ、魅力を発信することで、利用の「きっかけ」を創出し、さらなる利用促進を図ることを目的とする。

①-3-1 公共交通イベントの開催

対応するテーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					◎	○	

**事業内容**

(1) 公共交通の魅力を広く伝え、利用促進と認知度向上を図るため、車両を活用した体験型イベントや地域住民・観光客向けの公共交通イベント、環境施策と連携したイベントの実施を検討する。

→公共交通の利用方法を分かりやすく伝えることで、誰もが安心して公共交通を利用できる環境を整え、利用促進を図る。

→事例：鉄道事業者による、「ぐんまローカルスタンプラリー」イベント

→事例：上毛電気鉄道(株)による、「デハ101」車両の貸切運転

→事例：上毛電鉄友の会による、「スタンプラリー」イベント

- ぐんまローカルスタンプラリー
  - 【鉄道デジタル駅スタンプデザイン】 JR東日本
  - 【エネスタグ新橋線入駅】 エネスタグ新橋線入駅
- 上毛電鉄友の会企画のスタンプラリー
  - 2024年11月22日～2025年6月1日



出典：JR東日本 HP



出典：上毛電鉄友の会 HP

**エリア・路線等**

- 各公共交通
- 各駅

スケジュール実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【鉄道事業者、関係団体】鉄道各社によるイベントの実施継続					
		【交通事業者、観光協会、みどり市】みどり市が主体となったイベントの検討・実施					

①-3-2 バス停の案内看板デザインの変更								
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
					◎			
事業内容	<p>(1) バス停での待ち時間が「楽しい」と感じられるよう、待合環境の改善を含むバス停デザインの変更を行う。</p> <p>→バス停の案内看板のデザインを刷新することで、利用者の利便性向上と公共交通の魅力向上を図る。視認性の高いデザインの採用や、多言語対応による情報提供の強化を進めることで、誰もが快適に公共交通を利用できる環境を整える。</p> <p>→みどり市の特色を活かしたデザイン要素を取り入れることで、公共交通と地域の魅力を一体的に発信し、まちづくりの観点からも貢献する。</p>							
エリア 路線等	●大間々・笠懸路線バス							
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
(1)		【委託事業者、みどり市】デザインの検討・実施						→

①-3-3 運賃補助制度の拡充								
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	
	○	○	○		◎			
事業内容	<p>(1) 高齢者、障がい者、学生、子育て世帯、観光客など、移動の支援が求められる層に対して補助を行い、公共交通の利用促進と移動負担軽減を図る。</p> <p>→移動の利便性を向上させるだけでなく、地域経済の活性化や公共交通の持続可能性確保にも寄与する。</p>							
エリア 路線等	●各鉄道、大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」							
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)	
(1)		【みどり市】高校生・高齢者等への運賃補助の継続						→
			【みどり市】他の利用者に対する補助の検討・導入					→

①-3-4 広報戦略の改善							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					◎	◎	
事業内容	<p>(1) 各公共交通が連携し、一元化された情報提供の仕組みを検討する。  →SNS や公式アプリを通じたリアルタイム情報提供、地域イベントとの連携、視認性の高い広告展開などを進めることで、公共交通の魅力を効果的に伝え、利用促進につなげる。また、多言語対応やアクセシビリティ向上にも重点を置き、より多様な利用者に向けた情報発信の強化を推進する。</p>						
エリア 路線等	●各公共交通						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【交通事業者、観光協会、みどり市】各公共交通事業者による運営継続					
		【交通事業者、観光協会、みどり市】一元化された情報提供の検討・導入					

<b>②</b>	<b>安全で快適なまちづくり ～安心と笑顔を運ぶ公共交通</b>
<b>②-1</b>	<b>バリアフリー化の推進</b>
<b>背景 目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 60 歳以上で、5 年以内に免許返納を検討している人は、バリアフリー化への関心が高い傾向があるが、路線バスをはじめ、十分なバリアフリー対応が進んでいないため、さらなる整備を進め、公共交通に対する障壁をなくすことが求められている。</li> <li>● バリアフリー対応の車両更新だけでなく、玄関先まで迎えに行く交通の検討、駅舎のバリアフリー化などの交通結節点整備を進める。</li> </ul>

<b>②-1-1 バリアフリー車両の導入</b>							
<b>対応する テーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○	○	○	○	◎		
<b>事業内容</b>	<p>(1) 多様な利用者が快適に公共交通を利用できる環境を整えるため、車両更新の際は利用者・地域のニーズを踏まえた上で、適切なバリアフリー対応車両を導入する。</p> <p>→高齢者や障がい者、ベビーカー利用者など、多様な乗客の移動を支援し、公共交通の利便性の向上と持続可能な移動環境の実現に貢献する。</p>						
<b>エリア 路線等</b>	●大間々・笠懸路線バス、東町路線バス、「電話でバス」						
<b>スケジュール 実施主体</b>		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【みどり市】更新時期に合わせてバリアフリー車両の導入					
→							

<b>②-1-2 駅機能の整備【①-1-6 再掲】</b>
-------------------------------

②	安全で快適なまちづくり ～安心と笑顔を運ぶ公共交通
②-2	快適性の向上
背景 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 「バスがいつ乗れるかわからず不安」と感じることや、運賃のキャッシュレス化の遅れなどによって、公共交通の利用に不便さを感じているため、快適性の向上が求められている。</li> <li>● デジタル技術の活用や待合環境の改善を通じて、公共交通の利用をより快適にし、ストレスのない移動を実現することを目的とする。</li> </ul>

②-2-1 公共交通オープンデータの整備・活用							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
事業内容					◎		○
エリア 路線等	<p>(1) 「標準的なバス情報フォーマット (GTFS-JP)」の整備を進め、インターネットでの経路検索をはじめ、デジタルサイネージでの運行案内、各種アプリとの連携など活用方法を検討する。</p> <p>→国土交通省では、経路検索に必要な情報の整備を促進するとともに、バス事業者と経路検索事業者等の情報利用者との間で、データの受け渡しが効率的に行われるよう、平成 29 年 3 月に、経路検索に必要な時刻表や運行経路等の静的情報を統一された様式でデータ化する方法を「標準的なバス情報フォーマット (GTFS-JP)」として定めている。</p>						
スケジュール 実施主体	(1)	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
		【委託事業者、みどり市】オープンデータの整備・活用の検討					

②-2-2 出前講座等の開催							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					◎		◎
事業内容	<p>(1) 「みどり市どこでも出前講座」をはじめとした出前講座を実施し、公共交通の乗り方を学ぶとともに認知度や意識の向上を図り、公共交通利用への第一歩となるような機会を提供する。</p> <p>(2) 市内の小中学生を対象に、みどり市の路線バス車両を使った「バスの乗り方教室」を開催する。公共交通の使い方を学ぶことで、バス利用への不安を減らし、気軽に乗れる環境づくりを目指す。</p> <p>(3) 市内の中学生を対象に交通安全教育を行い、自転車事故発生の抑止に努める。特に岩宿駅周辺では発生密度が高いため、今後も継続的に実施し、注意喚起や周知を徹底していく。</p>						
エリア 路線等	●各公共交通						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【交通事業者、みどり市】出前講座の開催					
	(2)		【交通事業者・小中学校・みどり市】公共交通の乗り方教室の検討				
	(3)	【小中学校、みどり市】小中学生を対象とした交通安全教育の実施					

②-2-3 駅機能の整備【①-1-6 再掲】

②-2-4 AI オンデマンド交通システムの効果検証【①-2-1 再掲】

②-2-5 運賃のキャッシュレス化の導入【①-2-2 再掲】

②-2-6 バスロケーションシステムの導入【①-2-3 再掲】

②-2-7 デジタルサイネージの設置【①-2-5 再掲】

②-2-8 MaaS システムの導入【①-2-6 再掲】

③ 活力あふれるまちづくり ～地域の躍動を支える公共交通

③-1 まちづくりと連携した交通施策の推進

**背景目的**

- 本市は、市町村合併により笠懸町・大間々町・東町とそれぞれの地理条件や人口規模が異なるため、立地適正化計画による「コンパクト」な市街地の形成と併せて、地域・生活拠点をつなぐ「ネットワーク」の維持・形成が必要となる。
- 「みどり市観光振興計画」と連携し、計画の柱の一つである「街道の文化を生かし、地域間の資源をつなぐ」に寄与する公共交通を実現する必要がある。
- 「第2次みどり市総合計画」で掲げる将来像「輝くひと 輝くみどり 豊かな生活創造都市」の実現に向け、公共交通の分野からまちづくりを推進することを目的とする。

③-1-1 立地適正化計画との連携

対応するテーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○					◎	○

**事業内容**

(1) 立地適正化計画と一体となった施策を実施することで、住民移動の円滑化、地域の活性化を促進する。

→立地適正化計画で位置づけた居住誘導区域と都市機能誘導区域、地域・生活拠点をつなぐ路線バス、「電話でバス」の運行を継続し、市民や来訪者の移動を確保することで、生活の質の向上・地域の活性化に寄与する。

- 笠懸地域拠点  
居住誘導区域・都市機能誘導区域
- 大間々地域拠点  
居住誘導区域・都市機能誘導区域

出典：みどり市立地適正化計画

**エリア路線等**

●市内全域

スケジュール実施主体	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)	【みどり市】みどり市立地適正化計画の策定					
	【交通事業者、みどり市】立地適正化計画と連動した施策の推進					



<b>③</b>	<b>活力あふれるまちづくり ～地域の躍動を支える公共交通</b>
<b>③-2</b>	<b>移動自体を楽しむ仕組みづくり</b>
背景 目的	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 来訪者アンケート結果では、みどり市を訪れる目的として「わたらせ渓谷の自然景観を楽しむ」「鉄道を楽しむ」ことが求められている。</li> <li>● 鉄道や路線バスを楽しみながら移動する環境を創出することで、地域自体の魅力を引き出し、住民や観光客が公共交通を利用を後押しする。</li> <li>● 公共交通を単なる移動手段とするのではなく、移動そのものを楽しめるようにし、みどり市ならではの特色ある移動環境を整えることを目的とする。</li> <li>● 公共交通とまちなか活性化事業を組み合わせ、地域の活性化を推進することを目的とする。</li> </ul>

<b>③-2-1 景観を活かした運行</b>							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
事業内容	○			◎	◎		○
エリア 路線等	(1) みどり市の美しい景観を最大限に活用し、公共交通の魅力を向上させる。車窓からの風景を楽しめるルート設定や、観光資源と連携した特別運行を実施することで、移動そのものを体験型コンテンツとして提供する。 →事例：わたらせ渓谷鐵道(株)による、「トロッコわたらせ渓谷号」「トロッコわっしー号」の運行 →事例：みどり市観光協会による、「観光周遊バス（グリーンスローモビリティ）」の運行						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)	【交通事業者、みどり市観光協会、みどり市】景観を活かした運行の継続						

<b>③-2-2 新たな移動サービスの調査・検討</b>							
対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
事業内容	○			○	◎		◎
エリア 路線等	●市内全域						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)	【交通事業者、みどり市観光協会、みどり市】新たな移動サービスの調査・検討						

**③-2-3 グリーンスローモビリティの運行【①-2-4 再掲】**

<b>④</b>	<b>自立と協働のまちづくり ～共に考え共に創る公共交通</b>
<b>④-1</b>	<b>官民連携した交通施策の推進</b>
<b>背景 目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●群馬県主導の「沿線地域交通リ・デザイン推進協議会」において、「上毛電気鉄道」「わたらせ渓谷鐵道」の再構築を目的とした協議が行われており、「地域公共交通計画」の策定を目指している。</li> <li>●市民の日常の移動において、桐生市との連携が求められている。</li> <li>●群馬県及びみどり市と生活圏を共有する桐生市の連携を強化し、地域の活性化を促すことを目的とする。</li> </ul>

<b>④-1-1 群馬県との連携強化</b>							
<b>対応する テーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
						◎	○
<b>事業内容</b>	(1) GunMaaSの活用や公共交通に関するイベントの開催など、群馬県との連携事業を一層強化するとともに、鉄道会社の現状分析等を踏まえた車両更新計画の検討や、各鉄道会社の経営力・企画力強化に向けたサポート体制の導入を進める。あわせて、鉄道沿線にもたらす効果を最大化する取り組みを検討し、地域の活性化につなげます。						
<b>エリア 路線等</b>	●市内全域						
<b>スケジュール 実施主体</b>		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)		【交通事業者、群馬県、みどり市】連携強化に向けた取組の検討・実施					

<b>④-1-2 桐生市との連携強化</b>							
<b>対応する テーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
	○					◎	
<b>事業内容</b>	(1) バス交通について、桐生市との乗り入れポイントを拡充し、市民のさらなる利便性向上を図る。 (2) 将来的には両市での一体的なバス路線体系の構築を目指す。						
<b>エリア 路線等</b>	●桐生市（おりひめバス）、みどり市（大間々・笠懸路線バス、「電話でバス」）						
<b>スケジュール 実施主体</b>		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)		【交通事業者、桐生市、みどり市】両市での相互乗り入れの継続・強化					
(2)		【交通事業者、桐生市、みどり市】両市での一体的なバス路線体系の検討					

対応する  
テーマ

①

②

③

④

⑤

⑥

⑦

◎

◎

(1) 市内で継続的に地域活動に取り組んでいる市民団体の活動として、「わたらせ渓谷鉄道市民協議会」の呼びかけによる活動、「わたらせ渓谷鉄道各駅イルミネーション事業実行委員会」、「郷土を美しくする会」やわたらせ渓谷鉄道の「ふるさと駅長」制度など、多様な主体が活動している。これらの市民団体等は、みどり市全体の環境整備や観光情報の発信にも取り組んでおり、活動を通じて今後もみどり市の魅力を発信する。その一方で、各市民団体の高齢化により活動の継続が課題となっているため、持続的な活動を可能にする仕組みづくりや世代を超えた参加を促し、地域の魅力発信を安定的に進めていく。

- ◎ 「わたらせ渓谷鉄道市民協議会」の呼びかけによる活動（ピカピカ大作戦の様子）



出典：わたらせ渓谷鉄道 HP

- ◎ 「郷土を美しくする会」の活動（赤城駅・大間々駅におけるトイレ清掃の様子）



出典：郷土を美しくする会

- ◎ 「わたらせ渓谷鉄道各駅イルミネーション実行委員会」の呼びかけによる活動（大間々駅の飾り付けの様子）



出典：わたらせ渓谷鉄道各駅イルミネーション実行委員会

事業内容

④-1-3

市民団体等による環境整備・情報発信

事業内容

(2) 若者の視点で見つけたみどり市の魅力を写真に収め、情報を発信する市民 PR チーム「み撮り部」が発足した。今後は活動の範囲を公共交通の分野にも広げ、行政・交通事業者・利用者・その他関係者と連携しながら、公共交通にとどまらず地域全体の魅力を発信する。

◎ 「み撮り部」の活動（公式 Instagram より）



出典：みどり市民 PR チーム公式 Instagram 「み撮り部」 (@midoribu\_midori\_city)

エリア  
路線等

- 市内全域
- 各公共交通

スケジュール  
実施主体

	2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)	【市民団体等】活動を通じてみどり市の魅力を発信					
(2)	【み撮り部】みどり市の魅力を発信					

④-1-4

日本版ライドシェアの導入【①-1-7 再掲】

「第2回わたらせ渓谷鐵道各駅イルミネーション」の様子



**④ 自立と協働のまちづくり ～共に考え共に創る公共交通**

**④-2 地域企業との連携**

<b>背景 目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●わたらせ渓谷鐵道では、運賃外収入としてグッズの販売を行っているが、地元企業のPRを同時に行っている。</li> <li>●公共交通を単なる移動手段として利用するのではなく、みどり市を知ってもらうためのツールとして活用し、地域の活性化につなげることを目的とする。</li> <li>●さらに、わたらせ渓谷鐵道は地域に根ざした鉄道として、地域ブランドの認知度を高めるとともに利便性を向上させ、持続可能な社会づくりを推進する。</li> </ul>
------------------	---

**④-2-1 地元企業産のグッズの販売**

<b>対応する テーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					○	◎	

<b>事業内容</b>	<p>(1) 地域の公共交通機関と地元企業が連携し、特産品やオリジナルグッズの販売を通じて、地域活性化と公共交通の利用促進を図る。駅やバス停、車両内などのスペースを活用し、観光客や通勤・通学者に向けて地元企業産の魅力ある商品・情報を提供する。</p> <p>→オンライン販売や乗車特典の限定アイテム展開を通じて、公共交通の利用価値を高めるとともに、地域経済への貢献を強化や乗務員確保に貢献をする。</p> <p>→事例：わたらせ渓谷鐵道(株)による、織物鐵印の販売</p> <p>→事例：上毛電気鐵道(株)による、地元企業産グッズ等の販売</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●「桐生織」による織物鐵印</li> <li>●車掌・運転士・車両バッジ</li> </ul>
	
	
	<p style="text-align: center;">出典：わたらせ渓谷鐵道 HP</p> <p style="text-align: center;">出典：上毛電気鐵道 HP</p>

<b>エリア 路線等</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各公共交通</li> <li>●主要な鉄道駅</li> </ul>
--------------------	---

<b>スケジュール 実施主体</b>		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)		【交通事業者、みどり市】鉄道各社の実施継続					
		【交通事業者・みどり市】みどり市、みどり市観光協会での導入検討					

#### ④-2-2 広告協賛事業の導入

対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					◎		
事業内容	<p>(1) 鉄道・バス車両や時刻表への広告掲載、停留所のネーミングライツ、車両ラッピングなどの協賛金により、運賃外収入を確保する。</p> <p>◎ つり革オーナー制度</p>  <p>◎ まくら木オーナー制度</p>  <p>出典：上毛電気鉄道 HP</p> <p>出典：上毛電気鉄道 HP</p>						
エリア 路線等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内全域</li> <li>●各公共交通</li> <li>●主要な鉄道駅</li> </ul>						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)	<p>【鉄道事業者】鉄道各社での実施継続</p> <p>【委託事業者、みどり市】みどり市路線バス、「電話でバス」での導入検討</p>						

#### ④-2-3 商業施設・医療施設との連携

対応する テーマ	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
					○	◎	
事業内容	<p>(1) 公共交通利用者向けの施設内優待サービスの提供、乗車券と施設利用特典を組み合わせたキャンペーンなどの実施を検討する。</p> <p>→公共交通と商業施設・医療施設が連携し、地域住民や訪問者の移動利便性を向上させるとともに、施設利用の利便性を図る。</p>						
エリア 路線等	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市内全域</li> <li>●各公共交通</li> </ul>						
スケジュール 実施主体		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
(1)	<p>【民間事業者・委託事業者・みどり市】さくらモールでの割引券の発行の継続</p> <p>【民間事業者・委託事業者・みどり市】他の商業施設・医療施設との連携の検討</p>						

**④ 自立と協働のまちづくり ～共に考え共に創る公共交通**

**④-3 公共交通の実態の周知**

<b>背景目的</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●市民の移動の8割程度が、自動車での移動であり、公共交通に対する意識が低いように、利用されていない。</li> <li>●公共交通を利用する人は、公共交通への意識が高い傾向がある一方で、通学時に鉄道を利用していない高校生は、その意識が低く、将来的な公共交通利用に影響を与える可能性がある。</li> <li>●移動手段を提供するだけでなく、公共交通の現状と将来のあり方を共に考え、利便性の向上とサービス認知度の拡大を図り、持続可能な公共交通を構築することを目的とする。</li> </ul>
-------------	--

**④-3-1 公共交通の利用実態調査・モニタリングの実施**

<b>対応するテーマ</b>	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
							◎
<b>事業内容</b>	(1) モニタリングを通じて施策の効果を評価し、必要に応じて改善を行うため、利用者数の調査やアンケートを実施し、地域交通のニーズの変化を把握する。 →利用実態のない区間やバス停留所について、随時見直しを行うための根拠資料として活用する。						
<b>エリア路線等</b>	●各公共交通						
<b>スケジュール実施主体</b>		2025 (R7)	2026 (R8)	2027 (R9)	2028 (R10)	2029 (R11)	2030 (R12)
	(1)	【交通事業者・みどり市】利用実態調査・モニタリングの継続					

**④-3-3 公共交通イベントの開催【①-3-1 再掲】**

**④-3-4 広報戦略の改善【①-3-4 再掲】**

**④-3-5 出前講座等の開催【②-2-2 再掲】**

# コラム

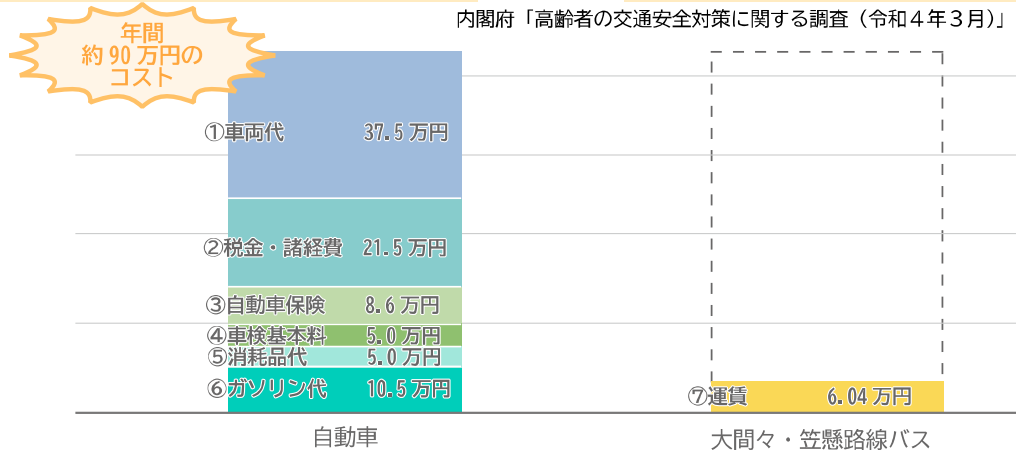
## ●「自動車」と「大間々・笠懸路線バス」のコスト比較

想定：週5日通勤・休日に外出する場合の1年間コスト

※週5日通勤の距離：合計7,000km（大間々駅周辺から阿左美駅周辺 往復約16km × 250日）を想定  
 休日（52日）の外出距離：合計1,500kmを想定

自動車を持っている場合の1年間のコスト (車両価格300万円の車を約8年間使用する場合)	自動車を持っていない場合の1年間のコスト (運賃100円の大間々・笠懸路線バスを利用する場合)
①車両代… 37.5万円	⑦運賃… 6.04万円
②税金・諸費用…21.5万円	平日(週5日勤務) 250日 × 2回利用 × 100円 = 5.00万円
③自動車保険…8.6万円	休日 52日 × 2回利用 × 100円 = 1.04万円
④車検基本料…5.0万円	
⑤消耗品代…5.0万円	
⑥ガソリン代…10.5万円	
合計… 88.1万円	合計… 6.04万円

内閣府「高齢者の交通安全対策に関する調査(令和4年3月)」を基に算出



## ●自動車のCO2排出量

自家用自動車の輸送量当たりの二酸化炭素排出量は127g-CO2/人・kmとされています。\*1 例えば、大間々駅周辺から阿左美駅周辺まで(往復約16km)を車で週5日通勤する場合、年間で約0.51トンのCO2を排出することになります。

$$127\text{g-CO}_2/\text{人 km} \times 16\text{km} \times \text{約} 250\text{日(週5日通勤年間日数)} = 0.51\text{t}$$

これは、スギの木約58本\*2が1年間かけて吸収する量に相当します。面積では、580㎡程度となります。みどり市では、大間々・笠懸路線バスに電気バスを導入しています。電気バスは走行時のCO2排出が実質“ゼロ”。

電気バスを利用することは、未来の環境を守ることに繋がります。

\*1 出典：国土交通省

\*2 出典：林野庁資料 1本あたり約8.8kg=0.0088t

